

参加型開発の再検討

佐藤 寛 編

アジア経済研究所

執筆者略歴（執筆順）（役職は2003年3月現在）

- 佐藤 寛** さとう ひろし アジア経済研究所経済協力研究部主任研究員
1957年生まれ 専門は開発社会学，地域研究（イエメン）
1988 - 89年 在イエメン日本国大使館専門調査員（技術協力担当）
1991 - 92年 国立民族学博物館（外来研究員）
1998 - 99年 イエメン共和国保健大臣アドバイザー
- 坂田 正三** さかた しょうぞう アジア経済研究所地域研究第1部
1965年生まれ 専門は社会開発，地域研究（ベトナム）
1988 - 90年 青年海外協力隊（パプアニューギニア）
1992 - 95年 国連ボランティア（タイ，カンボジア）
- 野田 直人** のだ なおと 国際協力事業団派遣専門家セネガル総合村落林業開発プロジェクト・チーフアドバイザー
1958年生まれ 専門は社会林業，参加型開発
1980 - 85年 青年海外協力隊（ホンジュラス・ネパール）
1986年 現在 JICA 専門家（ケニア・タンザニア・ペルー・ボリビア・ミャンマー・セネガル等）
- 大内 穂** おおうち みのる 秀明大学国際協力学部教授
1932年生まれ 専門は開発政治，法学，地域研究（南アジア）
1960 - 90年 アジア経済研究所
1977 - 79年 コーネル大学国際問題研究センター客員研究員
1990 - 94年 立命館大学国際関係学部教授
- 辻田 祐子** つじた ゆうこ アジア経済研究所地域研究第1部
1969年生まれ 専門は社会政策，地域研究（インド，ネパール）
1992 - 94年 在マドラス日本国総領事館派遣員
1995 - 97年 国際厚生事業団
- 斎藤 千宏** さいとう ちひろ 日本福祉大学福祉経営学部教授
1954年生まれ 専門は地域社会開発，NGO
1995 - 2001年 シャプラニール 市民による海外協力の会代表
- 水野 正己** みずの まさみ 農林水産政策研究所政策研究調整官
1949年生まれ 専門は村開発研究，アジア農業論
1999 - 2001年 農林水産省農業総合研究所海外部長
2001 - 02年 農林水産政策研究所国際政策部長
- 中村 尚司** なかむら ひさし 龍谷大学経済学部教授
1938年生まれ 専門は民際学，地域研究（スリランカ）
1961 - 84年 アジア経済研究所
1984年 - 現在 龍谷大学経済学部

参加型開発の再検討

目 次

はじめに

第 1 章 参加型開発の「再検討」——佐藤 寛... 3

第 1 節 参加型開発隆盛の背景... 3

第 2 節 当事者の参加と部外者の参加... 6

第 3 節 ステレオタイプ化された認識... 8

1．パラダイムシフト言説... 8

2．参加は常に良いことか...10

第 4 節 すれ違う議論...13

1．理念と手法...13

2．「手段としての参加」と「目的としての参加」...16

第 5 節 メリットとデメリット...19

1．参加型開発のメリット...19

2．参加型開発のデメリット...22

3．参加型開発と方向性のリスク...25

第 6 節 Development 概念と自発性...28

第 2 章 参加型開発概念再考——坂田正三...37

はじめに...37

第 1 節 初期の参加型開発概念...38

1．農村開発プログラムにおける「参加」...38

2．国連機関主導による参加型開発概念のメインスト
リーム化...40

第2節	1980年代以降の多様な議論...42
1.	多次元分類の登場...42
2.	「住民の視点」の主張...45
3.	「ガバナンス」の強調...47
第3節	参加型開発概念の限界...50
1.	参加型手法の技術的な問題点...50
2.	概念の前提に対する疑問...51
	おわりに...54

第3章 「参加型開発」をめぐる手法と理念——野田直人...61

	はじめに...61
第1節	開発の主体と参加型の関係...62
第2節	参加のレベルと理念...66
1.	住民の労力提供...66
2.	住民との相談...67
3.	住民の主導権...68
第3節	参加型の理念・手法とツール...70
第4節	手段と目的...74
第5節	理想と現実...76
第6節	参加型手法を使わない参加型...78
第7節	計算外の参加...81
	結論と提案...82

第4章 参加型開発とその継続性を保証する条件——大内 穂...87

	はじめに...87
第1節	何が問題か...91
1.	効率性...92
2.	コミュニティをベースとする参加...92

3 . 操作と動員のための概念...93
4 . 社会資本形成...93
5 . 継続的参加と自治管理能力...94
6 . 社会運動のダイナミズムのなかの参加...95
7 . 民衆参加方式の根底にある考え...95
8 . 参加の技法...96
第2節 参加の誘因と形態...96
1 . 強 制...96
2 . 便 益...97
3 . 自 立...98
第3節 自立的, 継続的参加型の事例研究...98
第4節 参加の継続性を保障する条件...104
1 . 組 織...104
2 . 規 範...106
3 . 資 源...106
むすび...108

第5章 女性の参加 水道衛生プロジェクトを例に——辻田祐子...115
はじめに...115
第1節 水道衛生セクターにおける女性の参加 開発戦略の変遷...116
第2節 女性の参加 実践上の問題点...121
1 . 女性と衛生教育の孤立化...121
2 . 女性の負担の増加...122
3 . 支払い意志と支払い能力の差...124
第3節 参加とジェンダーの視点のギャップ...126
おわりに 今後の課題...130

第6章	住民参加とNGOの役割	
	ムンバイ・スラム開発同盟を事例に	斎藤千宏...135
	はじめに	...135
	第1節	NGOと住民の関係...138
	第2節	スラム開発同盟の事例...144
		1. スラム再生公社設置まで...144
		2. スラム再生公社設立以降の動き...148
	第3節	考察...153
		1. NGOの関与...153
		2. 住民の参加能力形成...157
	むすびにかえて	...159
第7章	戦後日本の生活改善運動と参加型開発	水野正己...165
	第1節	課題...165
	第2節	農村開発における参加...166
	第3節	戦後日本の生活改善運動
		初期生活改善事業を中心にして...167
		1. 生活改善事業の端緒と展開...167
		2. 生活改善普及活動の展開...168
		3. 初期生活改善事業の成果...170
	第4節	生活改善運動にみる参加...171
		1. 生活改良普及員の活動とその効果...171
		2. 戦後の生活改善運動にみる参加の特質...179
	第5節	結論...181
第8章	参加型学問としての民際学と開発・差別	
	当事者主義とよそ者参加	中村尚司...185
	第1節	民際学と参加型研究...185

第2節	よそ者	参加と地域開発...	187	
第3節	部落差別と	よそ者	参加...	191
第4節	よそ者	参加の重要性...	204	

主要略語一覧

BRAC (Bangladesh Rural Advancement Committee)	バングラデシュ農村向上委員会
CBO (Community-based Organization)	住民組織
CDC (Community Development Corporation)	コミュニティ開発法人
DAC (Development Assistance Committee)	開発援助委員会
DFID (Department for International Development)	イギリス国際開発省
GAD (Gender and Development)	ジェンダーと開発
GTZ (Deutsche Gesellschaft für Technische Zusammenarbeit)	ドイツ技術協力公社
IDS (Institute of Development Studies)	サセックス大学開発研究所
IIED (International Institute for Environment and Development)	国際環境・開発研究所
ILO (International Labour Organization)	国際労働機関
IMF (International Monetary Fund)	国際通貨基金
JBIC (Japan Bank for International Cooperation)	国際協力銀行
JICA (Japan International Cooperation Agency)	国際協力事業団
NGO (Non-governmental Organization)	非政府組織
NPO (Non-profit Organization)	非営利活動団体
ODA (Overseas Development Assistance)	政府開発援助
OECD (Organization for Economic Cooperation and Development)	経済協力開発機構
PAR (Participatory Action Research)	参加型アクション・リサーチ
PCM (Project Cycle Management)	プロジェクト・サイクル・マネージメント
PLA (Participatory Learning and Action)	参加型開発実践学習
PRA (Participatory Rural Appraisal)	参加型農村調査
RRA (Rapid Rural Appraisal)	簡易農村調査
SEWA (Self-employed Women's Association)	自営業女性労働者の協会
UNDP (United Nations Development Programme)	国連開発計画
UNEP (United Nations Environment Programme)	国連環境計画
UNICEF (United Nations Children's Fund)	国連児童基金
UNRISD (United Nations Research Institute for Social Development)	国連社会開発研究所
WHO (World Health Organization)	世界保健機関
WID (Women in Development)	開発と女性

経済協力シリーズ第199号

参加型開発の再検討

2003年3月25日発行© 定価：本体2500円 + 税

編者 佐藤 寛

発行所 日本貿易振興会 アジア経済研究所
千葉市美浜区若葉3丁目2-2 〒261-8545

研究支援部 電話 043-299-9735 (販売)
FAX 043-299-9736 (販売)
E-mail : syuppan@ide.go.jp
<http://www.ide.go.jp>

印刷所 株式会社三陽社

ISBN4-258-09199-5

無断転載禁ず